

## カワネズミ *Chimarrogale platycephalus* (Temminck)

### 【選定理由】

本州と九州に広く分布し、県内でも 5 市町で生息が認められているが、半水生哺乳類である本種は溪流や小河川に依存して生活しており、生物多様性に配慮しない護岸工事や生活排水の流入など本種の生息環境の悪化によって個体群の維持が困難になっていると考えられる。

### 【形態】

体重 24~56g、頭胴長 94~144mm、尾長 87~113mm、後足長 23.0~27.7mm、耳介長 6.2~11.0mm、頭骨最大長 25.8~28.2mm。水生に適応した大型のトガリネズミで、前肢・後肢の指の間にある剛毛が水中で水かきの役割をはたしている。頭骨の脳頭蓋は扁平で口吻前方に尖っている。歯の咬頭の先端には赤い着色がない。歯式は通常 I3/1, C1/1, P1/1, M3/3=28 とされている(子安・織田, 2009 など)。

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

犬山市、豊田市、みよし市、岡崎市、設楽町(原田, 1996a, b; 子安・織田, 2009)。

#### 【国内の分布】

本州(千葉を除く 33 都府県)と九州(全 7 県: Abe *et al.*, 2015)。四国では後期更新世以降絶滅したと考えられる(子安, 1998)。

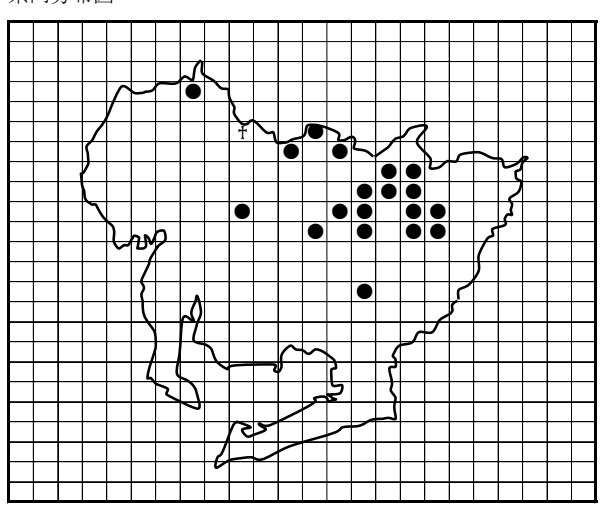
#### 【世界の分布】

日本固有種(Abe *et al.*, 2015)。

### 【生息地の環境／生態的特性】

山間部の溪流と丘陵部の小河川に生息する。巧みに水泳・潜水してトビケラの幼虫のような水生昆虫、サワガニ、魚類、カエルなどを捕食する。繁殖期は春と秋で、1 回に 2~5 仔を産む。巣は河畔の土中や石の下につくる。3 年以上生息する個体もいる。山間部の養魚場で飼育されている溪流魚をねらって出没することもある。水中を泳ぐ際には体表を被う毛皮の間に空気の泡を含み、これが光を反射するので「銀の矢」が水中を駆け抜けていくように見える。小河川を中心に存在するホームレンジ内では定期的に上流と下流に向かって移動を繰り返しているが、淵への落ち込みが急な箇所では岸に上陸して急流を迂回する性質がある。

県内分布図



### 【現在の生息状況／減少の要因】

現時点でカワネズミの生息することに疑問がない愛知県の河川は、矢作川水系(名倉川・神越川・巴川・乙川・男川など)と豊川水系(源流部)の 2 水系にすぎない。水生動物の生息に配慮しない護岸工事や河川改修はカワネズミの生息を不可能にしており、また生活排水の流入などによる河川の汚濁もカワネズミの絶滅域を拡大することによって個体数を減少させている。

### 【保全上の留意点】

里山に近い山間部での小河川や溪流における河川改修・護岸工事・農薬散布に際してはカワネズミの生息可能性を念頭に置いた施工が必要である。カワネズミそのものに対する知識不足(例えばカワネズミは「ネズミ」の属する齧歯目ではなく食虫目に属することなど)や半水生哺乳類としての生態特性から、各河川での生息が知られることなく絶滅する可能性があるため注意が必要である。

### 【特記事項】

天明年間(1781~1789)に成立した内藤東甫の『張州雑誌』にカワネズミの図がある。「水野沓掛邊(現在の瀬戸市定光寺町近辺)谷川處々有...」という記述から、最近の記録に乏しい尾張平野丘陵部にも 18 世紀後半にはカワネズミが少なからず生息していたが、瀬戸市では絶滅した可能性がある(子安・織田, 2009)。山口県の中期更新世、広島県の後期更新世、滋賀県の完新世、愛媛県の後期更新世から化石が産出している(Abe *et al.*, 2015)。

### 【引用文献】

Abe, H., Saito, H., Motokawa, M. 2015. *Chimarrogale platycephalus* (Temminck, 1842). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.16-18. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.

原田猪津男, 1996a. ほ乳類. 稲武町史・自然・資料編, pp.377-380. 稲武町, 愛知県北設楽郡稲武町.

原田猪津男, 1996b. ほ乳類. 設楽町誌『自然編』『資料編』, pp.585-593. 設楽町, 愛知県北設楽郡設楽町.

子安和弘, 1998. 日本産トガリネズミ亜科の自然史. 食虫類の自然史, pp.201-267. 比婆科学教育振興会, 広島県庄原市.

子安和弘・織田銃一, 2009. カワネズミ. レッドデータブックあいち 2009 動物編, p.78. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

(子安和弘・織田銃一)